

“未来”と話せる
ワタシになる！

東紀州未来学

三重県立
熊野青藍高等学校

本校では、各教科の授業で“探究”の基礎を学ぶとともに、関連する専門的な授業や「総合的な探究の時間」、「産業社会と人間」、様々な課外活動をとおして、日常生活や地域と関わりのある疑問や問題点を課題として設定し、その解決に向けた探究活動を行っていきます。その中で、自分の考えを更新したり実践に移したりしながら、自分をバージョンアップさせていきます。このような探究活動をとおして、持続可能な社会の一員として、ふるさとを想い、未来に希望を持って幸福を実現できる資質・能力を育成する学びが「東紀州未来学」です。ここで得られた成果は、授業内や成果発表会等で発表し共有します。

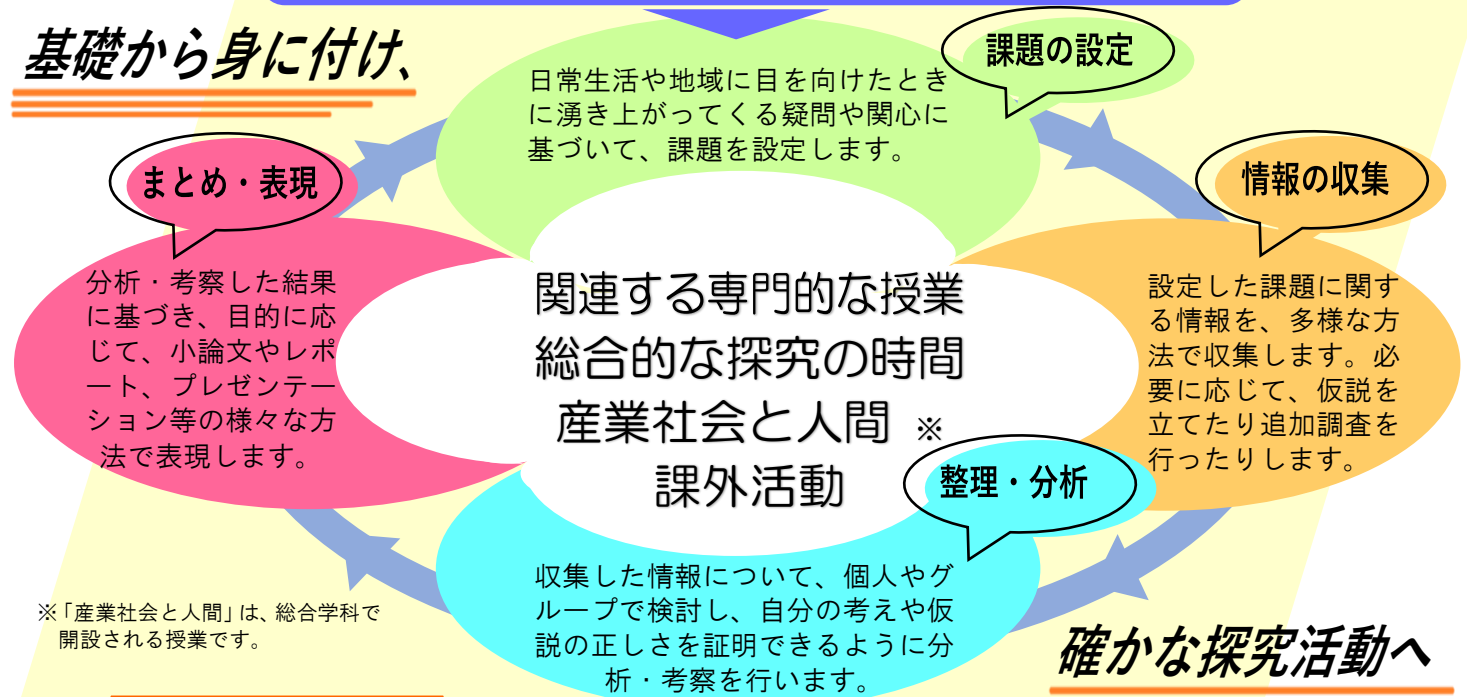
各教科の授業での学び

言語能力

情報活用能力

問題発見・解決能力

基礎から身に付け、



※「産業社会と人間」は、総合学科で開設される授業です。

確かな探究活動へ

育成する力

「東紀州未来学」では、多様な他者と協働しながら夢や目標に向かって挑戦する力や、地域や産業の役割を理解し地域創生に生かす力、自然環境や資源の有限性の中で持続可能な社会をつくる力、新たな価値を生み出すために柔軟に発想し創造する力等を育成します。

探究事例

SDGs × 地域

「震災で悲しみを抱える人をつくらぬ地域」を目指し、非常持出袋の商品化で得た資金を使って、施設にピクトグラムを設置しました。



地元の木材企業と地域産業の発展と地域活性化を考え、環境に優しい面から考えた新しい商品開発などのアイデアの提案を発表しました。



農薬の使用が少なく、環境負荷が小さい、薬用向けの甘夏みかん栽培について調査を行い、これを普及するためのアイデアを発表しました。



右の事例は、令和5年度にかけて行われた、SDGsの視点から課題解決を探る活動です。これらの活動の実績を、関連する授業等の学びの中で引き継ぎ、地域連携型の「東紀州未来学」としてリニューアルします。

